

市原王の歌一首

六六二番

網見の山 五百重隠せる 佐堤の崎 さて延へし
子が 夢にし見ゆる

安都宿禰年足の歌一首

六六三番

佐保渡り 我家の上に 鳴く鳥の 声なつかしき
愛しき妻の児

大伴宿禰像見の歌一首

六六四番

石上 降るとも雨に つつまめや 妹に逢はむと
言ひてしものを